

夏号

2010.0701
vol.75



CONTENTS

- 01 春夏秋冬
- 02 総代会報告
- 03 総代会報告
- 04 現場訪問〈小池邸〉
- 05 現場訪問〈井上邸〉
- 06 創立35周年特集
- 07 スタンプラリー1報告
- 08 職員リフォーム体験談
お便り

生活協同組合 消費者住宅 センターだより

発行人/生活協同組合消費者住宅センター
理事長/藤井 篤
〒164-0011 東京都中野区中央5-41-18 東京都生協連会館
TEL 03-5340-0620 (代表)
FAX 03-5340-0621
URL <http://www.iecoop.jp/>
E-mail info@iecoop.jp

春夏秋冬



理事長就任のご挨拶

理事長 藤井 篤

二〇〇〇年六月に生協・消費者住宅センター理事となつて以来ちょうど一〇年となりました。本年六月十二日の総代会で久保前理事長が退任し、同日の理事会で私が理事長に選任されました。

二〇〇八年九月のリーマンショック以降落ち込んでいた景気は、昨秋以降、プラスに転じたものの、昨年の新設住宅着工件数は四十五年ぶりという低水準で推移しました。消費者住宅センターの昨年度の供給高は予算の七〇%弱(約五億一〇〇万円)、経常剰余金は二一五〇万円の赤字という厳しい状況でした。

この時期に理事長の職をお引き受けしたのは、住宅生協に対する熱い思いと、久保理事長、富永副理事長、森虹の会会長の世代から次の世代の人々が生協の事業を承継し、これを発展させる架け橋になろうと考えたからです。

今年度から始まった第三次中期計画では、再来年度(二〇一二年度の組合員数二万人(二〇〇九年度末九四一〇人)、供給高一〇億円を目標とし、組合員一人ひとりの住まいの維持・管理・向上に役立つ事業を目指し、マンション管理業務を不動産分野の中核業務とすること、「医・食・住」の暮らしを通して協力協同の活動を進めることを通じて心の通い合う生協にしていこうことを掲げています。

微力を尽くし、生協の目標を達成していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

第35回通常総代会が6月12日(土)午後2時より、東京都生協連会館で開催されました。総代定数100人のところ94人(本人出席62人)が出席し、全議案が可決承認されました。

定刻に至り富永達夫副理事長が開会を宣し、議長に中島剛二総代、小池由美子総代を選出し、その後の議事が進行されました。

創立以来35年役員を務めた久保峰雄理事長が生協を代表して挨拶を行い、引き続き、ご来賓の東京都生活協同組合連合会専務理事竹内誠様、東京都森林組合連合会専務理事榎本武則様、さいたま住宅生活協同組合理事長本山豊様の3名の方々から挨拶を頂きました。議案提案は休憩をはさんで、大関恵士専務理事が一括して提案を行い、2009年度の業績は減収減益の厳しい結果となったが、その教訓の生かし、2010年度は創立35周年記念のキャンペーンを展開し、V字回復を図っていくことを最大の目標として、組合員を始め協力業者の協力も得て役職員一丸となって取り組んでいくことが提起されました。

議案提案に対して、1名の総代より東京都森林組合のプレカットの取り組み状況についての質問が出され、これに対して、大関恵士専務理事は東京都森林組合が木材を秩父のプレカット工場に送り、その材を使い公共施設を施工するという取り組みを始めたのを受けて、当生協でも検討し始めたが、まだ具体化には至っていない。今後組合員の資金計画に合わせて対応できるように受入を進めていくという回答を行いました。

採決の後、退任役員の挨拶と第1回理事会の結果、新役員体制が発表されました。すべての議事日程が終了し、鐘ヶ江副理事長より、閉会の挨拶があり、その後出席者は懇親会会場に移動し、和やかに交流を深めました。



新役員

第35回通常総代会総代名簿(五十音順)

相原孝行、赤沼和子、足立三郎、荒川真人、安藤節子、飯島美紗子、飯田英雄、飯山和孝、石澤一郎、石堂隆、板倉洋子、逸見武史、稲垣武逸、井上毅、井上恭伸、岩丸郁也、大久保光弘、大竹文子、大塚茂男、大橋利美子、小川博、亀岡さつき、川村賢一、木村光明、栗原哲治、黒瀬賢治、小池由美子、小岩正子、神山幸恵、後藤隆、近藤麻実、佐藤愛子、佐藤利美、柴田寛、篠崎弘哉、島川昭、島倉奈加、白瀬美弘、新城茂男、住谷俊明、関口修、関谷治、千賀良作、千田豊子、高嶋延壽、高島重紀、高瀬健一、高橋章、高林一男、竹内啓剛、武田麗子、谷口辰二郎、田谷礼子、丹野隆之、塚本謙一、葛木一夫、傳啓介、徳増信吾、仲倉弘子、中沢極、中島剛二、永田男、中野登美江、中村勝利、中村好一、中村繁雄、中村澄江、梨本雅光、西田好江、根津昭男、野上利行、野尻貞子、野村小夜子、橋本久夫、濱田三彦、日向巖、日野和人、福岡順治、藤沢正夫、細谷勝、堀口紀久雄、本名茂雄、馬上春雄、松木明子、三川英利、宮瀬裕規、百瀬幸弘、森文行、森学、柳田敏子、山中八千代、山野茂、横内恵、吉田桂子、吉田弘明、吉野恵子、米原純二、渡邉堅一、渡辺正、渡邉まさ子

採決結果

- 第1号議案 2009年度事業報告・決算関係書類承認の件
反対0、保留1、賛成多数で原案通り可決。
- 第2号議案 2010年度事業計画および予算決定の件
反対0、保留2、賛成多数で原案通り可決。
- 第3号議案 2010年度役員報酬額決定の件
反対1、保留1、賛成多数で原案通り可決。
- 第4号議案 第3次中期3ヵ年計画決定の件
反対0、保留1、賛成多数で原案通り可決。
- 第5号議案 役員選任の件
反対0、保留1、賛成多数で原案通り可決。
- 第6号議案 役員退任慰労金支給の件
反対0、保留1、賛成多数で原案通り可決。
- 第7号議案 議案決議効力発生の件
反対0、保留1、賛成多数で原案通り可決。



役 職 氏 名 略 歴

理事長 藤井 篤 (弁護士、東京フロンティア基金法律事務所 所長)

副理事長 鐘ヶ江正志 (元東京保健生活協同組合 専務理事)

専務理事 大関 恵士 (常勤)

理 事 浅井 春夫 (農林水産省職員生活協同組合 専務理事)

中島 剛二 (東京都区職員生活協同組合 参事)

細谷 紫朗 (東京借地借家人組合連合会 事務局長)

森 芙紗子 (東京都生活協同組合連合会 事務局員)

吉川 方章 (東京都学校生活協同組合 理事長)

和久井洋一 (大学生生活協同組合東京事業連合 専務理事)

監 事 井上 礎幸 (税理士、多摩合同会計事務所 代表社員)

瀬下小太郎 (特別区職員労働組合連合会 副執行委員長)

退任理事 久保峰雄、富永達夫、小野寺正純、野口剛敏、井口信治

退任監事 吉田忠文、田中大介



▼大関専務理事

第35期決算公告
貸借対照表の要旨
(2010年3月31日現在)

損益計算書の要旨
(2009年4月1日から
2010年3月31日まで)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	150,714	流 動 負 債	92,178
現金及び預金	92,099	工事未払金	41,605
建築供給未収金	35,322	未払金	19,874
未成工事支出金	18,673	未成工事受入金	23,400
未収入金	2,267	その他の	7,300
その他の	2,603	固定負債	15,532
貸倒引当金	△ 250	退職給与引当金	184
固定資産	20,022	預り保証金	15,348
有形固定資産	459	負債合計	107,710
無形固定資産	998	純資産の部	
その他固定資産	18,565	組合員出資金	53,581
保険積立金	0	剰余金	9,445
関係団体出資金	7,680	純資産合計	63,026
その他	10,885	負債・純資産の合計	170,736
資産合計	170,736		

供給	高	501,008
供給原価	406,493	
供給剰余金	94,515	
事業経費	116,898	
事業剰余金	△ 22,383	
事業外収益	2,033	
事業外費用	1,153	
経常剰余金	△ 21,503	
特別利益	582	
特別損失	595	
税引前当期剰余金	△ 21,516	
法人税等	180	
当期剰余金	△ 21,696	
前期繰越剰余金	△ 12,461	
当期未処分剰余金	△ 34,157	

六月十二日開催された第三十五回通常総代会を以って理事長を退任しました。今日まで陰に陽にご指導ご鞭撻を頂いた組合員の皆様に心よりお礼申し上げます。

ここで少々三十五年間の過去を振り返ってみます。設立発起人の一人として運動に参加して、第一期理事会の理事として選出されました。まだ東京労信販生協の住宅部長の在任中の出来事です。常勤理事に朋友の東京都生協連の専務補佐をしていた吉田氏が就任しました。彼は大学を卒業して直に連合会に就職したので、生協設立の手続きは明らかなが、経営の問題は単協経験が無かったので、持ち合わせていませんでした。まして建築・不動産は未経験の分野でした。そのため強く私に専従になるよう要請して来しました。海のものとも山のものとも判らない生協で、給与も年俸が半分になることを考えると、おいそれとは返事ができません。大変悩みました。発起人の一人として、不特定多数者に新しい住宅生協の設立を呼び掛けた者として腹を決めて専従者として従事することになりました。事業活動に精通したスタッフがないことには仕事になりません。理事会に諮り、前の生協の部下三人を採用しての出発です。

当時を振り返ると労金や大学生協の先輩達の配慮によって、生まれたばかりの生協は順調に歩むことができたと思います。建売住宅を企画した時、労金は私自身が自宅を担保提供するならば金額融資はOKという返事をくれました。事業者としての真剣度を問うたのです。大学生協の東京事業連合の専務であった浅井氏は東村山市の倉庫の発注を就任後六ヵ月後くれたり、さいたま市民生協の藤川さんからは川越店舗の建替えをマンションの等価交換方式での提案や店舗建設の発注を戴き、田中監事から前進座劇場の住宅建設の紹介等、順調な滑り出しとなりました。

三十五年経営が継続出来た要因を考える時、多くの人々の協力と援助があったからだと総括できます。人脈の大切さ、心を寄せる人々を絶対に裏切らない心構えが必要だとつくづく思っている次第です。



退任挨拶

前理事長 久保峰雄

世田谷区三宿の実家では、私と弟が結婚した後、両親だけで二〇年近く暮らしておりました。両親とも地方の出身で、戦中戦後から東京で苦勞しながら働き、弟が生まれたところに、念願だった家を中古で購入したものでした。家族の想い出が詰まった家です。

二〇〇八年五月に、当時八〇才の父が心筋梗塞のため発作からわずか六日で亡くなり、その二ヶ月半後には母が脳梗塞で倒れました。母は足に後遺症が残ったため、私の家に同居することになり、さて実家はどうしたら良いものか悩みました。築五〇年以上たち老朽化はすでにかなり進み、この機会にバリアフリーにできないか、家が新しくなることで母にもリハビリの張り合いができるのではないかと考えました。しかし、借地で間口一メートルにも満たないほどの旗竿地。こんな条件で引き受けてくれる工務店はあるだろうか、心配でした。住宅生協さんにお願したところ、「私たちには経験知がありますから」と心強い返答。その後は、設計士、営業担当、現場監督の方々の強力なチームワークで、梁や柱を遺したまま、バリア



▼玄関・サンルームテラス (改修後)



▲既存の柱を残した状態 (工事中)



アフターの改修工事でどんどん進められました。

住む者の立場に立つて、光や風の入り方、水場の位置、現在ある家具の大きさや置く場所などから生活動線を考えて設計してくださいました。作り付けの家具も積極的にプランが示され、収納の勝手もデザインも大変良いものになりました。口フトがほしい、サンルームがほしいという要望も次々とかなえてください、設計段階から大変楽しみでした。こちらが提示した予算を常に意識し、要望をかなえつつ「材料はこ

のあたりでどうですか？」とセーブもしてくださったので、資金繰りも大変見通しが立てやすかったのので助かりました。雨や寒い日が多い中で工事をしてくださった方々に頭が下がる思いでした。

完成した時は、予想以上にかわいくシンプルで住みやすくなっていたので、大満足です！



▲外観 (改修後)



▲外観 (改修前)



▲リビングからロフトに上る階段 (改修後)



▲オープンな寝室からリビングをのぞむ (改修後)



▲初回打合わせ (改修前)

現場訪問記 〈2〉

港区南麻布

I邸

【家づくりのきっかけは】

職員住宅に住める期間もあと三年となったころ、ひとり暮らしの母親が同居を希望していることから、長男が転校せずにすむよう小学校入学までの二年間で家を建てようという決心し、本を読んだり、ハウジングセンターめぐりを始めるようになりました。

【生協だからこそできた家づくり】

母の住む実家を建て替えようと思っていました。ここで大きな問題が：敷地が公道に面していないと判断されてしまい、基準法上、建替えは無理。港区の耐震診断を受けてみると、予想どおりの耐震能力不足の判定。耐震補強工事だけで一千万円程度の出費が必要となることが分った。だが一生に一度の家作りなので改修より



▼畳の下は収納量たっぷりのキャスター付出し

は建替え、そしてできるだけ満足のいくものを建てたい。二千万円くらいで建てられる家があれば、キッチンなど設備の立派な家もある。だが子供のアトピーも心配だし、姉歯事件のような不良物件では困る。無垢の木や漆喰など、自然素材を利用した夏には風が入り、冬は暖かくそして明るい家が希望であった。そしてしっかりした大工さんに造って貰いたかった。しかし知合いに大工はおらず、腕前も分からない。そこで職員報に出ていた生協に連絡することにした。

四寸柱や多摩産材としっかりした施工監理体制。他にも何件かはこれぞと思う会社はあったが、法的な面で無理との回答が多かった。しかし生協さんは、こここそ私たちの力が活かせるとの温かい言葉が。

【近隣問題とその対応】

現状よりは面積的にかなり小さくなるものの、接道を除けば基準法を満足させる、『是正工事』で進めることに：。担当する設計士により、二階に居間を、小屋裏部屋と屋上バルコニーをつくり壁は漆喰でなく無垢の木に：など色々アイデアが出てきたが、施主の希望をなかなか聞き入れてもらえず、後々の諸刃の剣になったとも言える。

九月に本契約となったが、借家人

▲洗面所、お施主様が自ら貼ったエコカラット



が出て行かないとゴネだした。転居費用を支払い一月遅れで着工に。しかし解体工事を始めると近隣から区に苦情が入り工事が中断。再度工事の挨拶を行い工事を再開。解体してみると、基礎や土台が脆く、再利用に値しないことが分かり更地にせざるを得なくなった。しかしここでもまた、近隣の苦情からによる、区の再度工事停止という強い指導が入った。屋根裏部屋は認められず、外周部も更にひと回り小さい建物に設計変更を余儀なくされた。常軌を逸したとも言える近所からの苦情で工事が何度も中断。「家は本当に建つのか？」「近所の意見はそんなにまで尊重しなくてはいけないのか？」。なかなか苦情主が家におらず、連絡がとれない状況だった。それでも生協さんが当の息子と話をすると、三時間も話をしても認めないとの一点張り。怒鳴り散らす。強行突破しかないかと一度は覚悟を決めたが、生協さんからは今後の工事を円滑に進める上で再度話し合いをと勧められ、町内会館で近隣説明会を開くことに。何とか合意は得られたが、その後も区への苦情は続き、区の職員が何度も来訪していた。

【図面からは分らなかった問題】

近隣への配慮から上棟式ができなかったのが残念であるが、棟上げ当日は仕事を休んで見学。感慨深いものがあつた。その後なるべく現場に行き進捗状況を見に行くようにしたがここで大きな問題が。苦情による大きな設計変更があつたものの、信頼して設計士に任せていたが、なぜ？どうして？という事態が：。二階の出窓の真中には大きな筋交いが、一階にもキッチンをつけるはずが、面積縮小のあたりから階段下スペースにキッチンが来ることになり、消防法の関係で火が使えない等々。いくら図面に記載してあるとはいえず、素人がわかる説明をしてほしかった。その後は大工さんをはじめ、熱心に仕事をしてくれて無事に工事を完成させることができた。費用低減ということもあり、樋や庇がないという設計士の説明であつたが、雨音がうるさく、やはり必要なものはそれなりの理由があるのだと思う。

【生協さんに頼んでよかったところ】

山小屋のような木の家、明るいリビング、日当たりのいい屋上といった家ができたこと。問題が起きてても誠意ある対応をしてくれたこと。壁の一部にエコカラットというタイルを施主に貼らせてくれたり、照明器具を施主支給させてくれたりなど、施主の希望を活かしてくれたこと。そして何より接道問題にも拘らず、粘り強く丈夫な家を建ててくれたこと。

【今後改善が必要なこと】

施主希望にあつた設計士の選択、施主と設計士の間を取持つ能力や、図面だけでなく議事録化すること。素人にも分かり易い説明のためには、設計図面だけでいいとは言えない。大手メーカーと違って、実物が無い分デメリットを含めたより丁寧な説明が必要であると思う。

【最後に】

五月の今は快適な二階であるが、真夏や真冬ではどうなのか、多少気になるもの。一生に一度の家づくり。生協さんに頼んで良かったと感謝しております。今後のメンテナンスも宜しくお願いします。

▲壁、天井にパイン材。床は杉材



▲ストリップ式階段で明るさと開放感を確保



創立35周年記念連続イベント ～スタンプラリー～



2010年6月21日に当生協は創立35周年を迎えました。これを記念し、2010年度の事業計画として連続イベントや特別価格キャンペーンを実施しています。イベント参加者には様々な特典をご用意しました。これからも5つのイベントが予定されていますので、是非奮ってご参加ください。

尚、ご案内・申込書は年4回送付の「センターたより」と一緒にお送りします。

第1弾 春の組合員の集い「トステムショールーム見学と亀戸天神藤まつりツアー」(4月24日)

第2弾 エコサマースクール(7月31日)

第3弾 住まいづくりセミナー(8月28日)

第4弾 i e C O・O P フェスティバル(9月18日)

第5弾 秋の組合員の集い「ぶどう狩りとワイン作り体験ツアー」(10月16日)

第6弾 新春「うたごえと交流の集い～組合員と協力業者との交流～」(1月22日)

※第6弾の日程が会場の都合で、1月29日から1月22日に変更になりました。

※都合により、企画内容や日程の変更がある場合があります。予めご了承下さい。

◆特典 (応募資格：組合員ご本人及び成人のご家族)

A賞：6イベント全スタンプ押印

東京都森林組合の1万円相当額の木工品
(右の中から、好きなものを1点お選び下さい。)

- ①組み立て式丸椅子(自然塗料) ③4脚丸椅子
- ②子供椅子 ④B賞の中から2点



B賞：3つ以上スタンプ押印

東京都森林組合の5千円相当額の木工品
(右の中から、好きなものを1点お選び下さい。)

- ①ボールペン、シャープペンシルセット
- ②トレイ(ウレタン塗装)
- ③時計



C賞：毎回参加者に創立35周年記念オリジナル・クオカード(1,000円)を1枚プレゼント

(但し、第4弾 iecoop フェスティバルは別の賞品となります。)

創立35周年記念キャンペーン

ご加入・ご紹介でQUOカードプレゼント！～2011年3月末日まで～

当生協は2010年に創立35周年を迎えます。これを記念して、組合員加入促進キャンペーンを展開しております。キャンペーン期間中(2011年3月末日まで)に当生協に加入された方に、もれなく1000円分のオリジナル・クオカードをプレゼントいたします！同じく、キャンペーン期間中に組合員がお知り合い・ご近所の方をご紹介頂き、その方が加入された際も、ご紹介して頂いた組合員と加入された方それぞれに1000円分のオリジナル・クオカードをプレゼント致します！期間中何人ご紹介されても結構です。是非、この機会に沢山の方をご紹介ください！！



◎プレゼント商品：1000円分のオリジナル・クオカード1枚

◎キャンペーン期間：2011年3月末日まで

◎プレゼント対象者：

- ①キャンペーン期間中に当生協に加入された方、
- ②同じく、紹介により加入された方と紹介した組合員

創立35周年記念 連続イベント スタンプ・ラリー

第1弾

CO-OP2010春の組合員の集い

亀戸天神藤まつりと トステムショールーム 見学ツアー

4月24日(土)創立35周年記念連続イベントの第1弾として、亀戸天神藤まつりとトステムショールーム見学ツアーがスタッフを含め60名が参加して開催されました。

住宅版エコポイント対象商品を始め、これからリフォームや建替えをお考えになっている方の参考に、サッシからキッチン、バスルームなど総合的に住宅設備機器を取り揃えてあるトステムショールームを見学し、合わせて住宅版エコポイント制度の説明や、長期優良住宅に適合したスーパーウォール工法について説明を受けました。



その後、ショールームから徒歩30分のところにある亀戸天神を散策しました。“東京一の藤の名所”として知られていて、この時期藤まつりが開催されています。今年は天候の影響で開花が遅れていて満開とまではいきませんが、早咲きの棚を堪能しました。さらに、現在建設中のスカイツリーを一望することが出来、充実した一日となりました。



組合員の声



今号より、この欄は返送されたご利用アンケートの中から、無作為に組合員のご感想やご意見、ご要望等を掲載させて頂いています。また、ご意見、ご要望の取り扱いについては個別にご返答しているものもあります。総じて今後の事業運営の改善のための貴重なご意見として検討させていただきますので、この場をかりて御礼申し上げます。

▽見積もりから施工までの時間がかかりましたが、とても誠実、親切な対応、施工にとってもありがたく感謝しております。伊藤さん細かいところまで対応がありがとうございました。大工さんの人柄にも恵まれ安心してお任せ出来ました。

(目黒区：Tさん)

▽お風呂、洗面所のリフォームの良き提案はありませんか。

(大和市：Tさん)

▽担当者よりの説明があったが、不注意による給湯器外表の傷をつけてしまった(2ヶ所)本部への報告を義務づけた方が良いと思う。

(練馬区：Kさん)

職員のリフォーム体験談

9. 暑いですね！！！！

伊藤 唯志

今年も、やっぱり夏は暑いですね！

皆さんは、暑さ対策どのようにしておりますか？ ん？ クーラー付けて寝てます？

却下！！

何か工夫している住まい方がありましたら、是非、私に教えてください。原稿ネタにしますから。(^^)

我が家は、窓全開で扇風機回して6時まで過ごします。その後、窓を締め切りクーラー作動。扇風機はそのまま稼働。

私は6時まで涼しい事務所でお仕事。家に帰ると快適な我が家。家族の地道な節約のお陰で、私は快適な我が家で過ごせております。ビールも旨い！

そろそろ寝ますか。 ん？・・・なんで俺の部屋クーラー付いてないの？うわっ！！！！あつっ！蒸し風呂？おーい。クーラー付けるよ。

「ダメにきまつてるでしょ！寝るときは全部消すんだから！」 マジっ！！！！

一番最上階の私の部屋は、屋根からの輻射熱、西日、階下からの熱気のたまり場なんですけど・・・

急いで2か所の窓を開けて、部屋のドアを全開。階段下のガラリ窓を開くと。ヒュー～気持ちよい風が入り込み、熱気が一気に外部へと抜けていきます。扇風機をつけて、しばらく部屋を冷やしおけば何とか寝れそうです。

？？？屋根の輻射熱は簡単に冷めない？よくご存じで！確かに小屋裏のような部屋は、昼間屋根に蓄熱した輻射熱が放熱します。とても寝れたものではありません。実は・・・

我が家は、屋根塗装を施した時に、「遮熱塗料」を使用したんです！正直、私も体感するまでは半信半疑でいました。屋根に蓄熱しにくいんです。これは、職人さん達が一番経験しています。通常コロニアル等の屋根は、火傷や、靴の裏が溶けてしまう程の熱さがあります。この遮熱塗料を施工すると、なんと素手で触っても熱くないとか。

ですから、私の部屋は割とすぐに常温へと下がります。ちなみに、よく間違える組合員さんがおりますが、「遮熱塗料」は熱を遮断する能力が高い塗料でありまして、涼しくなる塗料ではありません。

おーい！今日はさすがにひどい熱帯夜だからタイマー入れてクーラー付けるよ。

z～！・・・暑い・・・暑い・・・部屋が全然冷めない・・・さすがに今日は蓄熱量が高いかな？z～z～ トントン ん？

「パパ一緒に寝てもいい？」 おねしょしなければね。「でも、この部屋暑いね！？パパ？なんで暖房付けてるの？」

！！！！ア～ア！！！！・・・あつい・・・



お知らせ

住所変更の届出を

センターだよりは年3回から4回発行しています。情報伝達や組合員の交流という媒体としての役割に留まらず、郵送することによって組合員さんの所在確認の意味も含まれています。住所変更がありました遅滞なく生協の事務局へご連絡をください。